



都市と農がつながる、次世代の探求学習

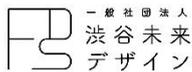
キューピー、渋谷未来デザイン、プランティオ、大広共同で、 SHIBUYA Urban Farming Project 渋谷区内小学校 2 校の「シブヤ未来科」へ プログラム提供開始

キューピー株式会社

キューピー株式会社（代表取締役 社長執行役員：高宮 満）と、一般社団法人渋谷未来デザイン（代表理事：小泉 秀樹）、プランティオ株式会社（代表取締役 CEO：芹澤 孝悦）、株式会社 大広（代表取締役社長：泉 恭雄）が推進する「SHIBUYA Urban Farming Project」（以下 SUFP）は、渋谷区立常磐松小学校、渋谷区立臨川小学校の 2 校で展開されている総合的な学習「シブヤ未来科」へ、都市農と地域循環をテーマにした体験型プログラムを提供することとなりました。このプログラムは、子どもたちが“食”を通じて地域や世界とつながり、持続可能な社会の一員として自ら考え、行動する力を育むことを目的としています。6 月から 12 月までの約半年間、野菜の栽培から料理の企画・実践など多様な体験型カリキュラムを展開します。



「シブヤ未来科」での授業の様子



PLANTIO



DAIKO

【背景・経緯】

都市で農的活動を行う「アーバンファーマーミング」を通じて、自ら野菜を育てて食べるという行為の中には、さまざまな生きた学びを得られる機会があると SUFP では考えています。育てる野菜を決めること、その野菜でどのような料理をつくるか思いを巡らせることは、「シブヤ未来科」で育みたい力とも合致します。この度、渋谷区教育委員会を通じて、SUFP の取り組みに関心のある学校を募集したところ 2 校の手が挙がり、各学校との打ち合わせを重ね、本取り組みが実現しました。

愛は食卓にある。kewpie

【カリキュラム概要】

本カリキュラムでは、普段何気なく食べている野菜についてさまざまなことを学びます。お店に並ぶ野菜はどのように届けられるのか、また、野菜料理にはどのようなものがあるのか。そして、野菜の育て方を学び、「アーバンファーマーミング」で自ら育てた野菜を使って、レストランのシェフになりきり、料理に挑戦します。この体験を通じて、渋谷区が目指す「自己調整力」「創造力」「挑戦力」の3つの力を育むことを目標としています。

【地域と企業の共創による運営体制】

本プログラムは、以下の多様なパートナーと連携して運営されます。

- 一般社団法人渋谷未来デザイン（統括・教育設計）
- キューピー株式会社（食育講義・調理支援）
- プランティオ株式会社（アーバンファーマーミングの講義・技術協力）
- 株式会社 大広（カリキュラムのプロデュース・プレゼンテーションの講義）
- 株式会社 ABC サステナテーブル（調理体験サポート）

【今後の展望】

SHIBUYA Urban Farming Project では、今後も地域の教育機関や企業と連携しながら、都市における「学び」と「農」の可能性を探っていきます。また、2025 年秋の「[SOCIAL INNOVATION WEEK](#)」での発表も視野に入れ、本取り組みのさらなる発展を目指します。

【渋谷区立常磐松小学校 担当教員コメント】

日浦 恵子先生

今年度の常磐松小学校の5年生は、「食と産業」をテーマに「SHIBUYA Urban Farming Project」で学習活動を行います。野菜を育てて食べる活動から、都市緑化の重要性、日本と海外との食文化の違い、食における社会の課題や企業努力など「食と産業」について幅広い視点で学習を深めます。本学級は1クラス16名と、小さな学級です。今回の探究学習では、少人数の強みを生かして「自分達もやってみたい!」とアイデアを学級全体で出し合い、試行錯誤しながら学級の力を集結させ、実現させていく楽しさを経験できることを期待しています。

【渋谷区立臨川小学校 担当教員コメント】

橋立 あゆ子先生

子どもたちが、アーバンファーマーミングを通して「自分の手で育てた野菜が自分達の口に入るまで」を体感しながら学び、いろいろな感覚を働かせてたくさんのワクワクと出会うことを願っています。自分と野菜・地域・環境・人などとの繋がりに気付き、食生活への関心を高めることで、実は多い「野菜嫌い」も克服できたら最高です。各方面の企業・専門家の皆さまとともにプロジェクトを創造していくという無限大の可能性に、私たち教員も今からワクワクが止まりません!

【SHIBUYA Urban Farming Project について】

都市に住む私たちができることは何かを考え、渋谷区内でのファームの設置支援や、地域団体との連携による食育活動、地域住民が参加できるイベントなどを実施していきます。アーバンファーマーミング（都市農）を通して都市の緑地化と生物多様性を促進しながら、渋谷らしいコミュニティ形成と新たな食文化の実現を目指します。

<https://shibuya-urban-farming.com/>

【キューピー株式会社について】

キューピーは、食品の製造・販売を主な事業とし、特にマヨネーズや各種ソースが主力商品です。また、医薬品、化粧品の製造・販売も手掛けています。創業以来、品質と安全性を重視し、商品開発を行ってきました。国内外で多様なビジネスを展開し、持続可能な社会の実現を目指して、サステナビリティ活動にも積極的に取り組んでいます。

<https://www.kewpie.com/>

【一般社団法人渋谷未来デザインについて】

渋谷未来デザインは、ダイバーシティとインクルージョンを基本に、渋谷に住む人、働く人、学ぶ人、訪れる人など、渋谷に集う多様な人々のアイデアや才能を、領域を越えて収集し、オープンイノベーションにより社会的課題の解決策と可能性をデザインする産官学民連携組織です。都市生活の新たな可能性として、渋谷から世界に向けて提示することで、渋谷区のみならず社会全体の持続発展につながることを目指しています。

<https://fds.or.jp/>

【プランティオ株式会社について】

1949年創業、東京・渋谷で“プランター”を発明したセロン工業を母体としたスタートアップ。ご家庭のベランダや、商業施設の屋上、オフィスやコワーキングスペースなど、あらゆる場所でたのしくアーバンファーム（都市農）を行うための野菜栽培ガイド付きデジタルファームプラットフォーム“grow”を展開。環境貢献度の可視化や、地域通貨と連携し、農と食のある街づくり、DXを越えたSXを推進。経済産業省のスタートアップ支援プログラム『J-Startup』選抜スタートアップ。

<https://plantio.co.jp/>

【株式会社 大広について】

大広は、1944年に大阪で設立され現在は東京と大阪の二本社体制を敷いている広告会社で、博報堂DYホールディングス傘下の企業です。全国に7か所の事業所と19の連結対象グループ会社を有し、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などの4大媒体をはじめ、屋外・交通・デジタルメディアなど幅広い広告プランを展開する総合広告会社です。特に「ダイレクトマーケティング」に強みを持ち、20年以上前からこの分野に注力。「ダイレクトなら大広」と業界内で評価され、近年は博報堂グループとの連携を強化し、さらなる発展を遂げています。顧客価値を基盤に企業の成長と社会の発展を目指し、令和6年の新中期計画では「想いに火をつけ、ともに想像以上の未来を」というパーパスを策定。深層対話技術「Deep Dialogue デザイン」を活用し、企業や社会の課題解決に取り組んでいます。

<https://www.daiko.co.jp/>